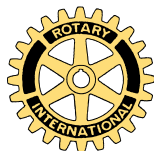
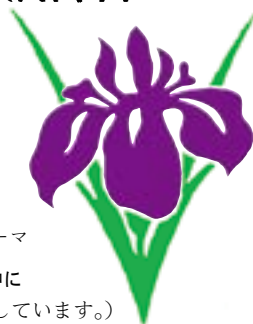


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 岡本 巧
幹事 神野 公秀
会報委員長 兵藤 文男

2009 ~ 2010年度 国際ロータリー John Kenny (ジョン・ケニー) 会長テーマ

The Future Of Rotary Is In Your Hands ロータリーの未来はあなたの手の中に

(この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。)

第2668回例会プログラム

[当年度=28回目; 当月=2週目]

2010年(平成22年) 3月 8日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……我等の生業
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 刈谷音楽協会へ
「学校訪問コンサート」協賛金贈呈
……刈谷音楽協会 理事長 近藤富士雄 様
9. 退会会員挨拶……糟谷 哲生 様
10. 幹事報告
11. 副幹事報告
12. 出席報告
13. 委員会報告
14. ニコニコボックス報告
15. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(3/15) ……休 会
(クラブ定款第6条第1節(c))
(3/22) ……休 会(法定休日)
- 13:00 16. 本日のプログラム
卓話 「刈谷市総合文化センター開館記念事業
—市民音楽劇“万燈の輝く夜に”」
講師 演出家・劇作家 伊豫田 静弘 様
(紹介者 橘 典子 会員)
17. 謝 辞
18. 点 鐘……〈会長〉
19. 閉会宣言

13:30 20. 散 会

ビ ジ タ ー

四宮 和仁 様 (知立 RC)

出 席

会員総数 95名 出席免除 25名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 10名 出席率 88.51%
前々回(2/22)の修正出席率 100%

副 幹 事 報 告

1) 次年度太田年度の件ですが、ロータリー手帳の発注の時期が来ておりました、今回注文を取らせていただくことになりました。大変お手数ですが、よろしく願います。

会員名簿ではありません！

刈谷音楽協会へ協賛金贈呈



刈谷音楽協会 理事長 近藤富士雄 様

会長あいさつ

「わが国の農業の現状と問題」

岡本 巧



現在のわが国の農業が抱える最大の問題は農業就業人数の激減である。北海道を例にとってみても、2003年には1960年の28.5%に減少した。2008年は118,000人（全国の4.0%）である。

経済的あるいは物質的生活水準の維持は可能でも、社会的あるいは文化的劣化は避けられない。今や、全国で農業の種別にかかわらず従事者の減少は著しいものがある。

しかし、僅かな人口で高い生産性を上げる事が地域の活性化に繋がるとは考えられない。最近、法人化農場も年々増加しつつある。その多くは高い生産性を追及する企業の形態をとり、生産計画をもとにした分業的運営が基本である。

しかし最近、成功例と紹介されるような大規模農家や模範的集約農家でも後継者の不足が顕在化してきている。この事は地域社会の崩壊が引き起こす「農文化」の喪失が、人として生きていくための「生活基盤」を奪い去っていることを示しているのではないか。

退会会員挨拶



糟谷 哲生 会員

卓 話

「故郷は遠きにありて?!」

—万燈の輝く夜に—

演出家・劇作家 伊豫田 静弘 様



刈谷市総合文化センターが、四月にオープンする。その開館記念公演の依頼を受け、迷わず万燈祭と決めた。

なぜ、「万燈祭」だったのか。もちろん天下の奇祭といわれるだけに、夏の夜を彩る巡行は、壮観である。しかし、私を惹きつけたものは、そ

の華やかさよりも、その祭礼を二百年以上も継承してきた人々のエネルギーである。

「兎追いしかの山、小鮒釣りしかの川」世代を超えて日本人に愛唱される「故郷」（大正三年文部省唱歌）がある。それは、自分の出生の地への愛着であり、父母、友人、先生たちに育まれた原点への回帰でもある。

また、「故郷は遠きにありて思うもの」ともあるように、青春の痛みを懐古がうづく揺籃の地でもある。

中でも郷土の祭礼は、地域共同体としての原体験の場であり、そこに暮らす人々のエネルギーの燃焼として、様々な想いを託されてきたのだ。

市民が創る市民の音楽劇「万燈の輝く夜に」は、万燈祭の二日間を舞台として、故郷を出て行った人、帰りたくても帰れない人、また帰るべき故郷の無い人々の人間模様を描き、故郷刈谷への賛歌としている。

「万燈の輝く夜に」に託したものは、よりどころを失なった現代人への問いかけと受けとめていただければ幸いである。



「万燈の輝く夜に」主演女優 花木 舞 様